

浜嶋です。

昨日、「集まれ！ チャレンジキッズ！！」が豊島公園で行われました。参加者は、スカウトも含まれますが、私服で参加しておりどの程度か分かりません。その子どもたちの数は、170人程度で保護者も含めると275人と発表されました。

全体の流れは、受付の後名札をつけて、第一ポイントへ。その前に集合と敬礼を覚えませす。4つのプログラムを体験した後は、表彰と記念品の保存用ビスコを貰います。

この運営を行っていたのが、ユースやベンチャーの皆さんでした。ユース14名のうち2団は、内賀嶋隊長、吉田副長、坂口副長、阪田副長、下村副長補、白崎隊長、下村副長の7名。ベンチャーは、4名のうち森嶋君が参加しました。なんと、18名中8名が2団のメンバーでした。すごいですね。

さらに、各ポイントでは、整列して敬礼を行っていました。私は、30mほど離れた国際委員会のブースで、各ポイントの2団のリーダーの活躍を見ていました。特に、ポイントファイナルでは、内賀嶋隊長と坂口副長に感動しました。二人は、参加者を待つのに直立不動の姿勢を貫いていました。なんと「かっこいい」姿でしょうか。坂口副長が集合をさせ、内賀嶋副長が表彰を行う連携プレーをテキパキとかっこよくしています。二人ののところに行って、「かっこいいなあ」と声をかけました。各リーダーは、やさしく微笑みながら言葉をかけていたのも印象的でした。

ここでは、2団のイベントで行っていることがそのまま行われています。高矢コミッショナーから、今回はPRが目的でそれが達成できたと話がありました。参加者にキムスゲーム、ロープ結び、担架運び、子猫の救出などボーイスカウトらしい体験をしてもらいましたが、各ポイントでのリーダーの「かっこよさ」も心に残ったと思います。これが大事なことです。私が2団のスカウトやリーダーにお願いしたいことです。これは当たり前のことであって、当たり前にはできません。よくぞやってくれました。

2団には、こんなに素晴らしい若いリーダーがたくさんいるのです。スカウトたちが、素晴らしいリーダーを目指し、日々の活動を楽しみ、人として自分を誇りに思えるように「ちかいとおきての実践」を行ってほしいと思います。すべてのリーダーや保護者はそのよき見本となろうではありませんか。